

内部監査報告書

確認	確認	受付	被監査部課			内部監査チーム		
市環境政策課 環境政策課長	環境モデル都市推進課 推進課長	環境モデル都市推進課 推進課長	部長	課長		相互内部監査員 (作成者)	内部監査員	内部監査員
作成日	平成30年 8月16日			被監査課	環境モデル都市推進課			
監査日時	平成30年 8月 9日 13時28分～15時40分			被監査者	環境モデル都市推進課長 竹内政弘			
内部監査員 氏名	田中克己 (金融政策課) 大野英彦 (三穂自治振興センター) 増田寿匡 (農業課)			相互内部監査員 所属及び氏名	相互内部監査員 福田丈雄 (日本検査キューエイ(株)) 藤原由里絵 (多摩川精機(株)) オブザーバー 小林 晋 (環境モデル都市推進課)			
指摘区分	章番号	指摘の内容						
マニ7.1 賞賛事項	全体	・ 事務事業、ISO等のシステムの統合を図ることにより、まだ改善の余地があるものの政策目標とシステム運用の一体化がより明確になってきた。 ・ 本年度の監査対象部署数は減っているものの、監査チーム人数を増やすとともに、力量を考慮したチーム作り等、内部監査員の力量の平準化とスパイラルアップを図る努力をしている。 ・ 環境マニュアル上で、組織（市長、部長、課長など）の役割がより明確でわかりやすくなったこと。						
マニ7.2 改善の機会	①是正処置を要する改善の機会（不適合） → 様式9-4「改善の機会対策報告書」作成 ②被監査課に対する改善の提案 → 様式9-4作成不要							
①是正処置を要する改善の機会（不適合）		なし						
②被監査課に対する改善の提案	6.2.1	【改善提案に対する処理状況は、翌年度の内部監査で確認します。】 なし						
マニ7.3 気づき事項 (軽微な文書上の不備等)	6.1.1	【気づき事項に対する処理状況は、翌年度の内部監査で確認します。】 なし						

裏面あり

マニアル 7.4 システム提案 (事務局への提案、具体的な解決方法を含む。)	6.1.1～ 6.2.2	・事務事業進行管理表について、設備・施設ごとに順守すべき法令順守事項やその他の要求事項が明記されていた方がわかりやすい。 ・「リスク及び機会」は、本来はすでに実施すると決めた個別の事業に後付けするものではない。本来は、市として計画を策定する段階で考慮するものである。市として取り組むべき課題を定め、絞り込みを行い、事業を決めたり、環境目標を決めるためにリスク及び機会を考慮するものである。また、事務事業進行管理表内の、「2 事業内容」の「事務事業を進めるうえでの課題認識」の欄で、すでにそれらの評価を行っている判断できる。帳票の改善と合わせて見直し検討が必要である。 ・最近の自然災害による災害廃棄物の問題等からもわかるように、緊急事態の対応として、組織が外部に対してもたらす環境影響はこれまで通り考慮しているが、飯田市として、2015 年版の規格が求めている外部から組織(飯田市)に対してもたらされる環境影響(環境には人も含む)にまで踏み込んで検討されていない。今後行政としてそこが重要となる。 ・環境モデル都市推進課は監査時間が足りない。また、他の部署でも、監査時間 1 時間は短い。下水処理場、最終処分場等は 2 時間では足りない。監査時間の見直しをすべきである。出先機関・指定管理者制度適用施設等を管理している環モ課の監査も、現場確認あるいはせめて適用範囲に入っている施設の環境マネジメントに関するデータを集めるなどして提示できるようにするとともに、監査時には監査員がそれらを確認する必要がある。		
その他の特記事項				
市民協働 環境部長 処 理 欄	賞賛事項の水平展開 要・否	指 示 	確 認 環境モデル都市 	

【注】 1 内部監査員は、監査実施後 7 日以内にチームリーダーに報告します。
2 この環境記録は、市民協働環境部長、事務局の確認後、各課で保管します。